

語数: 100語 目標時間: 15分 文の形: must・have to ねらい: 「しなければならない」の強さを読む

 **場面** 夏休みの海外ホームステイ説明会の資料。must(～しなければならない)とdon't have to(～しなくてよい)が混ざっています。義務と自由を仕分けながら読もう。

 **精読とは** 速く読む練習とは反対に、1文ずつ「だれが・どうする・なぜ」まで説明できるように読みます。辞書を使ってOK。

①②…は文の番号です。

読 ホームステイ説明会の資料です。

- ①Here are the rules for your homestay week.
②You must call your host family "Mom" and "Dad"? ③No! You don't have to do that.
④You can use their first names — ask them first.
⑤But you must tell your host family your plans every morning.
⑥If you will be late, you have to send a message before 6 p.m.
⑦You don't have to eat everything on your plate, but you must say "No, thank you" clearly.
⑧Silence is the most difficult "answer" for them.
⑨One more thing: you must not stay in your room all day. ⑩Living together is the best textbook.

 host family=ホストファミリー silence=沈黙

問 設問(10点満点) 記号は()に、書く問題は下の線に。

(1)	文⑧のthemはだれを指していますか。日本語で書こう。	2点
(2)	「遅くなるときのルール」がわかる文はどれ? 番号で答えよう。	2点
(3)	文⑦の内容に合うのはどれ? ア. 全部食べなくてよいが、断るときははっきり言う。イ. 出された物は必ず全部食べる。ウ. 苦手な物はだまって残してよい。	2点 ()
(4)	文⑤の主語と動詞のかたまりを英語のまま抜き出そう。	2点
(5)	文⑨⑩のルールの理由を日本語で説明しよう。	2点

答 解答と許容範囲

(1)	ホストファミリー(受け入れ先の家族)	だまっていることが一番困る相手。
(2)	⑥	send a message before 6 p.m.。if+期限のセット。
(3)	ア	don't have to eat everything+must say clearly.義務と自由が1文に同居。
(4)	主語: you 動詞: must tell	must+動詞で1つのかたまり。「毎朝予定を伝える」は絶対ルール。
(5)	いっしょに生活すること自体が一番の学び(教科書)だから、部屋にこもってはいけない。	must not(禁止)の理由が⑩。ルールの「なぜ」まで読むのが精読。

訳 全文訳(自分の読みと照らし合わせよう)

①ホームステイ週間のルールです。②ホストファミリーを「お母さん」「お父さん」と呼ばなければならない？ ③いいえ！ そうする必要はありません。④ファーストネームで呼んでかまいません——まず本人に聞いてみましょう。⑤でも、毎朝自分の予定をホストファミリーに伝えることは必須です。⑥遅くなるなら、午後6時までにメッセージを送らなければなりません。⑦お皿の物を全部食べる必要はありませんが、「けっこうです」とはっきり言わなければなりません。⑧沈黙は、家族にとって一番むずかしい「返事」です。⑨もう1つ——一日中部屋にいてはいけません。⑩いっしょに暮らすことが、最高の教科書なのです。

☆じっくり読みのコツ Level 9 must=しなければならない／must not=してはいけない／don't have to=しなくてよい。3つはまったく別物。ルール文はこの3色で仕分けながら読むと、「やること・やってはだめ・自由」のリストが自動で完成する。

■ 記録しよう 得点___／10 → 8点以上なら次のLevel 10へ。7点以下なら、全文訳を見ながら本文をもう一度読み、(5)の答えを書き直してから次へ。